

後 志 自 動 車 道  
新光地区舗装詳細設計

特 記 仕 様 書

令和 6 年 4 月

東日本高速道路株式会社  
北海道支社 札幌工事事務所

## 第1章 総 則

### 1-1 調査等概要

1-1-1 調 査 等 名 後志自動車道 新光地区舗装詳細設計

1-1-2 路 線 名 後志自動車道

1-1-3 施行箇所 自) 北海道小樽市新光町  
至) 北海道小樽市新光3丁目

### 1-1-4 主な調査内容

項目	単位	数量	備考
舗装設計	k m	2.21	連絡等施設部 ジャンクション 1.85 k m バスストップ 0.36 k m 詳細図作成 25枚 図面修正 22枚
標識設計	型式	2	ジャンクション 1型式 バスストップ 1型式
附帯工設計	式	1	管理用道路設計 1箇所 歩道構造検討 1式 ボックスカルバート設計 1基 擁壁工設計 6断面 既設函渠工照査 1基 詳細図作成 23枚 図面修正 20枚 バスストップ切替検討 1式

### 1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和5年7月版とする。

### 1-3 資料の貸与

共通仕様書1-1.5「資料の貸与及び返却」に基づく貸与資料は、次の調査等業務による成果品等である。ただし、履行期間中の調査等業務について、その成果品等の貸与予定日は下表のとおりとする。貸与予定日までに成果品等を貸与できない場合は、別途監督員と協議するものとする。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
完成図（管理用平面図、橋梁図面等）	—	契約締結の日の翌日から7日以内	電子成果品(TIFF) 既供用線側資料
設計報告書等	新光地区道路構造検討	契約締結の日の翌日から7日以内	電子成果品 (PDF、2次元CAD 等)
	新光地区附帯工設計	契約締結の日の翌日から7日以内	電子成果品 (PDF、2次元CAD 等)
	新光地区下部工詳細設計	契約締結の日の翌日から7日以内	電子成果品 (PDF、2次元CAD 等)
	新光地区工事用道路図面作成	契約締結の日の翌日から7日以内	電子成果品 (PDF、2次元CAD 等)
	新光地区工事用道路詳細設計	契約締結の日の翌日から7日以内	電子成果品 (PDF、2次元CAD 等)

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
設計報告書等	新光地区鋼管連続壁断面検討	契約締結の日の翌日から7日以内	電子成果品 (PDF、2次元CAD 等)
	新光地区鋼管連続壁図面修正	契約締結の日の翌日から7日以内	電子成果品 (PDF、2次元CAD 等)
	小樽JCT函渠工補強検討	契約締結の日の翌日から7日以内	電子成果品 (PDF、2次元CAD 等)
	余市～小樽間 施設配置等検討業務	契約締結の日の翌日から7日以内	電子成果品 (PDF、2次元CAD 等)
	小樽東地区舗装詳細設計	契約締結の日の翌日から7日以内	電子成果品 (PDF、2次元CAD 等)
参考図書	後志自動車道 舗装工事しゅん工図面	契約締結の日の翌日から7日以内	PDF・DWG
	後志自動車道 標識工事しゅん工図面	契約締結の日の翌日から7日以内	PDF・DWG
調査設計図書	その他等業務遂行に伴い生じた関連資料（他機関の管理基準・報告書等）	契約締結の日の翌日から7日以内	適宜
その他	交通管理者・道路管理者の定める交通規制実施に関わる基準・マニュアル等	契約締結の日の翌日から7日以内	適宜

#### 1-4 受注者相互の協力

共通仕様書1-20「受注者相互の協力」に示す、隣接又は関連の調査等業務については、下表のとおりである。なお、履行期間中に関連調査等業務が増加した場合は、監督員の指示によるものとする。

調査等名又は工事名	主な関連事項	予定工期	発注機関	受注者名
後志自動車道 小樽ジャンクションCランプ橋工事	調査区間の重複	令和元年8月31日～ 令和9年1月20日	東日本高速道路株式会社	五洋建設(株)・(株)ピーエス三菱・(株)横河ブリッジJV

## 1-5 計画工程表

### 1-5-1 計画工程表の記載事項

受注者は、共通仕様書 1-14-1 に示す作業計画書の計画工程表（様式第 1）の作成にあたっては、次の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。

受注者は、完了時期の明示にあたって、発注者または監督員が行う協議や共通仕様書 1-22 に規定する打合せの実施時期についても十分検討し、計画工程表（様式 1）に記載するものとする  
また、共通仕様書 1-9-4 に定める照査計画を盛り込むこととする。

なお、作業単位の設定は、下表を標準とするが、計画工程表（様式 1）の提出にあたって監督員と受注者で協議のうえ、決定するものとする。

工種	工種	作業単位	備考
現地踏査	—	—	
舗装設計	設計計画	設計条件の協議・決定	
		設計報告書の作成	
	平面設計及び図面作成	—	
	縦断図作成	—	
	標準横断図作成	—	
	詳細図作成及び図面修正	—	
標識設計	標識基本設計	—	
	標識撤去平面図作成	—	
附帯工設計	管理用道路設計	—	
	歩道構造検討	—	
	ボックスカルバート設計	—	
	擁壁工設計	—	
	詳細図作成及び図面修正	雨水調整池設計	
		プラットホーム設計	
		歩道詳細図	
		図面修正数量計算	
	既設函渠工照査	—	
	バスストップ切替検討	—	
数量表作成	—	—	

### 1-5-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は、共通仕様書 1-22 「打合せ」の実施時に、計画工程表に作業の実施状況を記載し監督員に報告するとともに、調査等打合簿（共通仕様書様式第1-4号）に添付するものとする。

なお、受注者は、前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-29-1 に準じた協議のうえ、必要に応じ共通仕様書 1-14-3 に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。

## 1-6 打合簿の作成及び提出について

受注者は、共通仕様書 1-22 「打合せ」にあたっては、打合せ前に打合せ項目を整理すると共に、打合せ終了後、速やかに調査等打合簿（共通仕様書様式第1-4号）を作成し、監督員に記載事項についての確認を得るものとする。

清書した打合せ簿は、電子メールによる伝達とし、受領者は受領欄に押印したうえで、発議者に電子メールで返送のうえ、保管するものとする。

#### 1-7 工事記録情報の作成及び提出について

受注者は、共通仕様書 1-4-3-1 「工事記録情報」の規定に従って、「工事記録収集システム」へのデータ入力を行うものとする。また、業務完了までに、「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」を監督員に提出し、その後入力データの照査を受け、「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。また、照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い、速やかに修正を行うものとする。

工事記録収集システムに関する問い合わせ先は、当社が協定締結した「保全点検業務等の実施に関する協定」に規定する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

#### 1-8 三者協議会について

本調査等の成果による発注工事（以下、「予定工事」という。）において、監督員及び受注者並びに予定工事の受注者が協働して、設計の理念及び意図に係わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協働連絡会議（以下、「三者協議会」という。）」を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途監督員、予定工事の受注者および受注者とで協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定する協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

#### 1-9 照査技術者及び照査の実施

共通仕様書 1-9-3 「照査の実施」～1-9-7 「照査に必要な費用」を下記のとおり変更する。

##### 1-9-1 照査の実施

受注者は業務の実施にあたり、照査を適切に行わなければならない。

照査は、「設計照査の手引き」（東日本高速道路（株）ホームページに記載）により実施するものとする。

照査技術者は、設計条件の整合、設計図書と設計打合せ事項との整合、設計図面と応力・数量計算書との整合等について照査しなければならない。

受注者は、詳細設計（構造物設計においては基本設計及び詳細設計が対象）においては、成果品をとりまとめるにあたって、設計図、設計計算書、数量計算書等について、それぞれ及び相互（設計図－設計計算書間、設計図－数量計算書間）の整合を確認する上で、確認マークをするなどしてわかりやすく確認結果を示し、間違いの修正を行うための照査（以下、「赤黄チェックという。」）を実施する。

なお、赤黄チェックの資料は提出③に合わせて監督員に提出し、監督員は確認結果の回答時に返却するものとする。

また、照査技術者は提出③の際に赤黄チェックの根拠となる資料を発注者に提示するものとする。

（詳計（構造物設計においては基本設計及び詳細設計が対象）に限る。）

##### 1-9-4 照査計画の作成

受注者は、共通仕様書 1-1-4 に定める作業計画書に、下記の照査計画を記載しなければならない。

- ①照査目的 ②照査技術者 ③照査項目 ④照査フローチャート ⑤照査時期 ⑥照査体制  
⑦照査報告書の構成及び照査項目一覧表（チェックリスト）

照査時期については、計画工程表によるものとする。

なお、照査における照査項目一覧表は「設計照査の手引き」によるものとし、照査フローチャートは「設計照査の手引き」によらず別紙１のとおりとする。

なお、「設計照査の手引き」の第１章から第６章に記載するフローについても別紙１に準じるものとする。

#### １－９－５ 成果の確認

照査技術者は、前項で定めた照査計画に従い、成果品の内容について受注者の責において照査技術者自身による照査を行わなければならない。

#### １－９－６ 業務完了前の報告

受注者は、業務完了届提出の６０日前までに、「設計照査の手引き」に基づく照査③以降の作業及びそれに対する修正等の対応を除き完了しなければならない。業務完了届提出の６０日前までに業務の実施状況を報告するものとする。

なお、『「照査③」及び「提出③」に対する監督員の確認及びそれに対する受注者の修正等の対応（成果品の納品）』の各々の期限について、業務完了届提出の６０日前までに受発注者にて協議し、受注者はその確認内容を調査等打合せ簿にて記録するものとする。

#### １－９－７ 照査結果の報告

受注者は、「設計照査の手引き」に基づく段階ごとの照査完了の都度、上記１－９－４⑦に示す照査項目一覧表（チェックリスト）に、照査結果の内容を記載し監督員に提出するものとする。

また、受注者は、業務完了時の最終段階の照査完了後、上記１－９－４⑦に示す照査項目一覧表（チェックリスト）及び照査技術者が署名または捺印した照査報告書を取りまとめ、監督員に提出するものとする。なお、照査報告書は成果品に含めて発注者に納めなければならない。

#### １－９－８ 照査結果に対する通知

監督員は、上記１－９－７で受注者から提出された照査項目一覧表（チェックリスト）を速やかに確認し、その結果を調査等打合せ簿にて受注者に通知するものとする。受注者は、監督員からの通知に対して適切に対応しなければならない。

なお、監督員からの通知内容に関わらず契約図書に基づく受注者の照査義務及び成果品の品質確保の責務を逃れるものではない。

#### １－９－９ 照査に必要な費用

前記１－９－３～１－９－８に必要な費用については、関連項目に含むものとする。

#### １－１０ 工程の管理

- （１）受注者は、共通仕様書１－１４－１に規定する計画工程表（様式－１）を作成するにあたって、作業計画に影響する懸案事項がある場合は、その内容を明記するとともに、課題解決のための受発注者責任分担、対応者（監督員又は受注者）及び対応時期を明記するものとする。
- （２）前項の規定に従い作成した計画工程表（様式－１）を、受発注者双方で確認し認識を共有するものとする。

- (3) 受注者若しくは発注者は、計画工程表（様式－１）に明記した事項に変更が生じた場合、速やかに記載事項を修正するとともに、修正した計画工程表（様式－１）を受発注者双方で認識し共有するものとする。

#### 1－１１ 合同現地踏査

合同現地踏査は、調査等共通仕様書に規定されている受注者が行う現地踏査に発注者が同行して現地状況等の把握のほか、当該業務の課題及び契約内容について確認を行うものをいう。

合同現地踏査は、業務着手後速やかに行うことを原則とし、実施時期及び実施方法については受発注者協議のうえ決定するものとし、踏査に伴い確認した事項は調査等打合せ簿に記録し、受発注者で相互に確認するものとする。

なお、業務の追加・変更が発生した場合、又は共通仕様書に規定のない業務において発注者がその必要性を認めた場合は、合同現地踏査を実施するものとし発注者は必要な費用を負担するものとする。

また、合同現地踏査により新たな課題等が発生した場合は、必要に応じて計画工程表を見直すものとする。

## 第2章 業務細部に関する事項

### 2-1 業務の内容

本業務は、後志自動車道 小樽ジャンクション（略名：JCT）Cランプ部及び新光バスストップ（略名：BS）における舗装設計、標識設計、附帯工設計である。設計の実施にあたっては、共通仕様書第5-5「附帯工設計」、5-6「舗装設計」、5-7「構造物設計」、5-9「標識設計」を適用する。

#### 2-1-1 現地踏査

現地踏査は、舗装設計、標識設計、附帯工設計に本業務で行う全ての設計を対象として行う現地踏査で、設計に必要な現地状況を十分調査、把握するものとし特に、発注者から貸与する資料と現況との相違点、一般工事での変更事項及び計画等を詳細に現地で調査するものとする。

### 2-2 舗装設計

#### 2-2-1 設計条件

設計条件は次のとおりとする。

（1）連絡等施設（小樽ジャンクションCランプ部）

（i）道路規格 第1種第2級A規格

（ii）設計速度  $V = 50 \text{ km/h}$

（2）連絡等施設（新光バスストップ部）

（i）道路規格 第2種規格

（ii）設計速度  $V = 80 \text{ km/h}$

#### 2-2-2 図面縮尺

本特記仕様書及び設計書に示す図面縮尺は、B1図面の縮尺を示す。ただし、成果品はA3出力時の図面縮尺とすること。

#### 2-2-3 連絡等施設設計

（1）小樽ジャンクションCランプ部の舗装設計は、共通仕様書5-6-2「連絡等施設設計」の規定によるものとする。

（2）新光バスストップ部の舗装設計は、共通仕様書5-6-2「連絡等施設設計」の規定によるものとする。ただし1）小樽ジャンクションCランプ部と重複する平面図については、同一図面として作図してよい。図面枚数の検測は重複枚数に限らず、下記枚数として検測するものとする。

項目	縮尺	検測枚数
線形図	1/1000	1枚
平面図	1/1000	1枚
	1/500	2枚
	1/200	1枚



## 2-2-4 詳細図作成

### (1) 設計内容

詳細図作成は共通仕様書5-5-4「詳細図作成」、5-11-1「図面修正」に準じて作成するものとする。設計内容等を下表に示す。

項目	設計内容	図面種別	単位	数量
詳細図作成 A	共通仕様書5-5-4 に準じるもの(※1 簡単程度)	用排水工詳細図	枚	3
		防護柵詳細図	枚	7
		半たわみ舗装工詳細図	枚	1
		路面標示工詳細図	枚	7
詳細図作成 B	共通仕様書5-5-4 に準じるもの(※1 普通程度)	飛雪防止柵工詳細図	枚	1
		ノーズ詳細図	枚	3
		防雪柵詳細図	枚	1
		注意喚起板詳細図	枚	1
詳細図作成 C	共通仕様書5-5-4 に準じるもの(※1 複雑程度)	エア遮断器詳細図	枚	1
図面修正A (簡易)	共通仕様書5-11-1 に準じるもの(図 面修正率10%未満 で比較的簡易な図 面)	視線誘導標詳細図	枚	1
		距離標詳細図	枚	1
		スノーポール詳細図	枚	2
		標識サポート詳細図	枚	1
		転落防止柵詳細図	枚	1
		縁石工詳細図	枚	1
		床版防水工詳細図	枚	1
		床版防水記録表詳細図	枚	1
		カルバート番号板 背面転圧工詳細図	枚	1
		エア遮断器上屋詳細図	枚	9
		撤去工図	枚	1
		交通規制図	枚	2

※1) 用排水工詳細図、のり面工詳細図、簡易舗装工詳細図作成をいう。

### (2) 詳細図作成

上記表に示す設計内容の「簡単」「普通」「複雑」の程度が適当ではない場合、詳細図作成の程度について監督員と協議し定めるものとする。

### (3) 図面修正

図面修正は、特記仕様書1-3「資料の貸与」または標準図集を基に修正を行うものとする。上記表に示す図面修正率及び図面区分が適当ではない場合、修正率及び図面区分について監督員と協議し定めるものとする。

### (4) タイトル等修正

図面修正率が0%でタイトルのみを修正する図面に該当する場合、タイトル修正(枚)で検測するものとし、この区分については監督員と協議し定めるものとする。

## 2-2-5 数量計算

数量計算は共通仕様書5-6-3「数量計算」の規定によるものとする。数量計算の検測数量は、ジャンクションとバスストップを合わせ1式(式)とする。

## 2-3 標識設計

### 2-3-1 基本設計

標識基本設計の内容は共通仕様書5-9-1「基本設計」によるものとする。現地踏査に要する費用は特記仕様書2-1-1「現地踏査」に含む。設計内容等を下表に示す。

項目	単位	数量	備考
設計計画	型式	2	・小樽ジャンクション1型式 ・新光バスストップ1型式
型式等の選定	型式	2	
平面図作成	型式	2	
数量計算	型式	2	

1) 一期線で設置した本線標識、市街地標識の転用、撤去計画に要する費用は関連する項目に含む。新たに市街地標識を新設する場合、これに要する費用は監督員と協議し定めるものとする。

2) 検測数量は、施設箇所数(型式)とする。

## 2-4 附帯工設計

### 2-4-1 管理用道路設計

管理用道路設計の内容は共通仕様書5-5-3「付替・取付道水路設計」によるものとする。

### 2-4-2 歩道構造検討

#### (1) 歩道構造検討

歩道構造検討とは、バスストップ歩道概略図を参考に、経済性、利用者利便性、施工性、環境影響、維持管理性を勘案し歩道の構造比較検討を行い最適構造を決定するものである。歩道構造検討の検討内容は下表に示すものとするが、検討することが適当ではないと判断されるケースは監督員と協議し検討を省略するものとする。協議の結果検討ケースが増減した場合の費用については監督員と協議し定めるものとする。歩道構造検討の数量の検測は1式(式)とする。

項目	設計内容	検討内容及び検討ケース	単位	数量
歩道構造検討	共通仕様書5-5-4に準じるもの(※1普通程度4枚)	検討ケース1(概略図案) 歩道構造:歩道橋及び土工 縦断勾配:-7%程度	式	1
		検討ケース2 歩道構造:歩道橋及び0.3勾配擁壁 縦断勾配:+2%程度		
		検討ケース3 歩道構造:ブラケット構造 縦断勾配:+7%程度		
		検討ケース4 上記以外の案		

## (2) 歩道設計条件

### 1) 適用する基準

- ・立体横断施設技術基準（国土交通省 昭和53年3月）
- ・バリアフリー整備ガイドライン（国土交通省 令和4年3月）
- ・道路橋示方書（日本道路協会 平成29年11月）
- ・設計要領第二集

### 2) 歩道設計諸元

歩道幅 1.800m + 側方余裕 0.500m 建築限界 2.500m

### 3) 歩道橋の耐震性能

- ・レベル1地震動に対して耐震性能1
- ・レベル2地震動に対して耐震性能3

## 2-4-3 ボックスカルバート設計

ボックスカルバート設計の設計内容は共通仕様書5-5-1「溝渠工設計」によるものとする。  
設計条件及び区分は下記のとおりとする。

内空寸法 (W×H)	断面	断面形状	ウィング	設計区分	斜角	標準図集
2.8×2.6	1断面	1連1層	無	概略一般図後の 詳細設計	90° 00' 00"	使用しない

### 1) 地震時の影響設計

地震動の作用は、レベル1地震動およびレベル2地震動の2種類で設計を行う。設計手法については設計要領第二集カルバート建設編3-4-5「地震の影響」によるものとする。

### 2) 現場打ち施工及びプレキャスト製品

経済性・施工性・工程短縮の観点で、現場打ち施工とプレキャスト製品を比較検討して設計を行い最適構造となるものを決定して設計を行うものとする。

## 2-4-4 擁壁工設計

擁壁工設計の設計内容は共通仕様書5-5-2「擁壁工設計」によるものとする。設計条件及び区分は下記のとおりとする。

項目	擁壁種別 (箇所または測点)	断面	設計区分	設計条件等	区分
擁壁工設計 A1	U型擁壁 (歩道階段部)	1断面	概略一般図 後の詳細設計	擁壁の高さが 左右同じ	基本断面
擁壁工設計 A2	U型擁壁 (ボックスカルバート接続部)	1断面	概略一般図 後の詳細設計	擁壁の高さが 左右同じ	基本断面以外
擁壁工設計 B	もたれ式擁壁 (管理用道路)	2断面	詳細設計	滑り安定計算 必要	基本断面と 基本断面以外
擁壁工設計 C	もたれ式擁壁 (ジオセル擁壁) (STA34+75～C-STA1094+30) (BS-STA1+25～STA39+40)	2断面	概略一般図 後の詳細設計	滑り安定計算 必要	基本断面と 基本断面以外

### 1) 地震時の影響設計

地震動の作用は、レベル1地震動およびレベル2地震動の2種類で設計を行う。設計手法については設計要領第二集擁壁建設編3-1-5「地震の影響」によるものとする。

### 2) 擁壁形式選定

擁壁設計着手に先立ち、経済性、施工性、維持管理性を考慮し最適な擁壁構造を選定するものとする。

## 2-4-5 既設函渠工照査

特記仕様書2-5-4「擁壁工設計C」で決定した擁壁構造により、土工拡幅及び擁壁自重の付加荷重増に対する既設ボックスカルバート本体及びウィングの構造照査を行うものである。

(1) 照査を行う既設函渠工の条件は下記のとおりとする。

内訳書の項目	測点	内空寸法 (W×H)	断面	断面 形状	ウィング	斜角	備考
既設函渠工照査	STA. 35+60 朝里1BOX	2.0×2.0	1断面	1連 1層	片側	56° 30' 00"	

(2) 照査内容は下記のとおり

照査項目	照査(作業)内容	備考
現地踏査	現地踏査により応力超過が原因と思われる有害なクラックが発生していないか調査するもの。	費用については特記仕様書2-1-1「現地踏査」に含む。
応力照査①	土工拡幅後の荷重で建設時照査(設計要領第二集S39年10月)を適用して常時の許容応力照査を行うもの。	復元設計照査
応力照査②	土工拡幅後の荷重で現行照査(設計要領第二集R元年7月)を適用して常時の許容応力照査を行うもの。	現行基準設計照査

(3) 照査判定

応力照査の結果、土工拡幅による応力超過していると判断する場合、別途対策工法の検討を追加指示するものとする。

(4) 安定照査及び耐震照査

安定照査及び耐震性能照査が必要と判断した場合、別途設計を指示するものとする。

(5) 成果品

成果品は、現地調査状況写真(カラー)、設計計算書とし出力用紙の大きさはA4、提出部数は1部とする。

## 2-4-6 詳細図作成及び図面修正

(1) 設計内容

詳細図作成は共通仕様書5-5-4「詳細図作成」、図面修正5-11-1「図面修正」に準じて作成するものとする。設計内容等を下表に示す。

項目	設計内容	図面種別	単位	数量
詳細図作成 B	共通仕様書5-5-4 に準じるもの(※1 普通程度)	雨水調整池設計 プラットホーム詳細図	枚 枚	1 2

項目	設計内容	図面種別	単位	数量
詳細図作成 C	共通仕様書5-5-4 に準じるもの（※1 複雑程度）	歩道詳細図	枚	20
図面修正A （簡易）	共通仕様書5-11-1 に準じるもの（図 面修正率10%未満 で比較的簡易な図 面）	横断図 ・Cランプ横断図 ・BS横断図	枚	21
数量計算	共通仕様書5-11-3 に準じるもの	横断図	枚	21

※1) 用排水工詳細図、のり面工詳細図、簡易舗装工詳細図作成をいう。

(2) 詳細図作成

上記表に示す設計内容の「簡単」「普通」「複雑」の程度が適当ではない場合、詳細図作成の程度について監督員と協議し定めるものとする。

(3) 図面修正

図面修正は、特記仕様書1-3「資料の貸与」の図面を基に修正を行うものとする。上記表に示す図面修正率及び図面区分が適当ではない場合、修正率及び図面区分について監督員と協議し定めるものとする。

(4) 歩道詳細図

歩道詳細図は、特記仕様書2-4-2「歩道構造検討」の検討結果で決定した、土工・構造物・用排水工等について、それぞれの工事实施図面作成、工事数量の算出を行う。ただし、歩道橋設計、擁壁工設計等の複雑な構造計算が必要で詳細図作成が適当ではない場合、その費用については別途発注者と受注者とで協議し定めるものとする。

2-4-7 バスストップ切替検討

バスストップ切替検討とは、Cランプ橋架設完了からCランプ供用までの施工計画を立案し、工事工程表の作成、仮設バスストップ計画、施工ステップ毎に施工手順図を作図することをいう。設計内容を下表に示す。施工手順図の枚数が増減しても費用の変更は行わないものとするが、監督員が別途検討を指示した場合の費用は監督員と協議し定めるものとする。バスストップ切替検討の数量の検測は1式（式）とする。

項目	設計内容	検討内容	単位	数量
バスストップ切替検討	共通仕様書5-5-4 に準じるもの（※1 普通程度3枚）	・工事工程表の作成 ・仮設バスストップ計画 ・施工手順図作成	式	1

※1) 用排水工詳細図、のり面工詳細図、簡易舗装工詳細図作成をいう。

2-4-8 電算機使用料

電算機使用料は、附帯工設計に伴う構造計算等の電算機使用料をいう。この費用には、構造計算等の必要なすべてを含むものとする。

## 2-5 設計打合せ

設計打合せは下記のとおり行うものとする。

- (1) 業務着手時及び業務完了時には管理技術者が立ち会うこと。
- (2) 打合せ場所は、東日本高速道路株式会社 北海道支社 札幌工事事務所で行うものとする。  
ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。
- (3) 打合せ回数は、7回（ただし、当初打合せは現地踏査に含むものとし、別途支払は行わない）とし、業務内容確認検査及び完了検査を含むものとする。また、受注者は監督員と密接な連絡をとるものとする。なお、設計打合せを行った場合には、その内容を翌日までにまとめ双方で確認することを原則とする。
- (4) 打合せの検測数量は、1式とし、履行状況により打合せ回数が増減しても、打合せ費用の変更は行わないものとする。
- (5) 打合せ方式について、対面式からオンライン方式に変更する場合がある。なお、変更になった場合の費用については、別途発注者と受注者との協議し定めるものとする。

## 2-6 交通費・日当・宿泊費

交通費・日当・宿泊費には、設計打合せに必要な交通費・日当・宿泊費を含むものとし、設計項目及び数量が増減しても、交通費・日当・宿泊費の変更は行わないものとする。なお、打合せが対面方式からオンライン方式に変更になった場合の費用については、別途発注者と受注者との協議し定めるものとする。

## 2-7 成果品

成果品は、共通仕様書 1-4 5-5 及び共通仕様書 5-5-10、5-6-4、5-9-3 の関連項目等によるものとする。報告書紙の表紙は黄色、黒文字製本とする。

## 2-8 補足事項

### 2-8-1 設計図書の変更及び追加について

次に示す作業については、変更または追加する予定があるので、作業に当たっては監督員の指示に従うものとする。なお、変更・追加を行った場合の費用については、別途発注者と受注者との協議し定めるものとする。

- (1) 関連機関との協議により、図面修正及び図面作成を追加する場合がある。